

安全データシート

作成日：2024 年 10 月 16 日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ライトニングジェルリムーバー
供給者の会社名称 : 株式会社 Belle
住所 : 大阪府大阪市北区梅田 1-1-3
大阪駅前第 3 ビル 29 階
電話番号 : 070-3108-4470
推奨用途 : まつげエクステンションのリムーバー
使用上の制限 : 特殊用途に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理的危険性

爆発物 : —
可燃性又は引火性ガス : —
エアゾール : —
支燃性又は酸化性ガス : —
高压ガス : —
引火性液体 : —
可燃性固体 : —
自己反応性化学品 : —
自然発火性液体 : —
自己発熱性化学品 : —
水反応可燃性化学品 : —
酸化性液体 : —
酸化性固体 : —
金属腐食性物質 : —

健康有害性

急性毒性（経口） : —
急性毒性（経皮） : —
急性毒性（吸入：気体） : —
急性毒性（吸入：蒸気） : —

急性毒性（吸入：粉じん：ミスト）

：－

皮膚腐食性又は皮膚刺激性

：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

：区分 2

呼吸器感作性

：－

皮膚感作性

：－

生殖細胞変異原性

：－

発がん性

：－

生殖毒性

：－

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

：－

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

：－

吸引性呼吸器有害性

：－

環境有害性

水性環境有害性（急性）

：－

水性環境有害性（長期間）

：－

オゾン層への有害性

：－

【GHS ラベル要素】

絵表示



注意喚起語

：警告

危険有害性情報

：眼刺激・皮膚刺激

注意書き

【安全対策】

：取扱後はよく手を洗うこと。換気の良い場所で使用すること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急処置】

：眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：炭酸プロピレンを主成分とする混合物

化学物質名称	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		C A S 番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭酸プロピレン	60~90	C ₄ H ₆ O ₃	(5)-524		108-32-7
増粘剤	3~10	企業秘	既存物質	公表物質	企業秘
香料	1~5	-	-	-	-

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物：無し

4. 応急処置

一般的な初期手当	: 事故が起きた時あるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける。
吸引した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
眼に入った場合	: 最低 15 分間、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 できるだけ速やかに医師の診断・手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師の診察を受ける。 意識のある場合は、水で口内を洗う。無理に吐きださせてはならない。

応急処置をする者の保護 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

5. 火災時の措置

適した消火剤	: 霧状水・泡／耐アルコール泡・粉末・二酸化炭素・乾燥砂
使用してはならない消火剤	: 棒状注水
消化を行う者の保護	: 耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる

特有の危険有害性

燃焼の際に生成する有毒な煙、蒸気またはガス

: 一酸化炭素

特有の消化方法

: 関係者以外立入禁止。安全に実行可能であればすべての着火源を除去する事。危険で無ければ危険区域から容器を移動する。風向きに注意すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 関係者以外立入禁止。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。漏出物を回収する事。
除去方法	: 少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: (取扱者の暴露防止)「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具の着用をする。
局所排気装置・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。
注意事項	: 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取り扱い、換気のよい場所で行う。野外での取り扱いはできるだけ風上から作業する。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
安全取扱い注意事項	: 容器に過度な衝撃を加える、落下させるなどの粗暴な扱いをしない。

保管

適切な保管条件	: 直射日光を避け、密栓して冷暗所で保管すること。
安全な容器包装材料	: ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 排気装置などの換気設備を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具	: 空気呼吸器（SCBA）を着用すること。
手の保護具	: 状況に応じて、ゴム手袋などの不浸透性を着用すること。
眼の保護具	: 保護眼鏡または安全ゴーグルを使用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 実験用エプロン、液体飛沫から眼、顔及び肌を保護する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: ジェル状
色	: 透明
臭い	: 知見無し
pH	: 中性
融点／凝固点	: -60 度
沸点	: 153 度
引火点	: 100C (c.c.)
爆発範囲	: 上限 1.8vol%、下限 14.3vol%
蒸気圧	: 11.3Pa(25 C)
比重／密度	: 0.95g/ml(20 C)
溶解度	: 水に溶けやすい

10. 安定性及び反応性

安定性	: 予期される通常の保管及び取り扱い条件において安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と接触すると反応する事がある。
避けるべき条件	: 日光・熱・混触危険物質との接触 混触危険物質（強酸化剤）
危険有害な分解生成物	: （一酸化炭素・二酸化炭素及び水除く）データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: ラット LD50 >28000mg/kg
急性毒性（経皮）	: 知見無し
局所効果	: 皮膚を刺激する場合がある。眼を刺激する。
感作性	: 知見無し
変異原性	: 知見無し
発がん性	: 知見無し
生殖毒性	: 知見無し
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 知見無し
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 知見無し

1 2. 環境影響情報

移動性	: 知見無し
残留性／分解性	: 微生物などによる分解性が良好と判断される物資である。
生体蓄積性	: 知見無し
生体毒性	: 魚類（コイ）LC50/96H > 1000mg/L

1 3. 廃棄上の注意

内容物・容器を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。空容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物

国内規制

陸上規制情報	: 消防法の規定に従う
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
国連分類	: 分類基準に該当しない
国連番号	: 分類基準に該当しない
I M O	: 該当しない
I A T A	: 該当しない

1 5. 適用法令

消防法	
法第 2 条危険物別表第四類引火性液体：第三石油類非水溶液性液体（指定数量）2000L	
労働安全衛生法	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
毒劇法	: 該当しない

1 6. その他の情報

参考文献	: 国際化学物質安全性カード（ICSC）
------	----------------------